

- 日時 令和元年6月26日(水) 10:30～15:45 / ■ 場所: 中部地方整備局 中部技術事務所構内
- 参加者 災害対策用機械操作訓練 80名 (国土交通省職員11名、災害協定業者69名)
移動通信機器運用訓練 40名 (国土交通省職員30名、災害協定業者10名)
- 概要 愛知県内の国土交通省職員及び災害時の協力協定を締結している業団体の会員(災害協定業者)を対象に、災害対応時に活用することを念頭に、保有する災害対策用機械の操作技術・運用技術の習得・向上を目的とした訓練を実施した。また、当訓練では、**災害対策用機械の操作訓練**に加えて、**移動通信機器の運用訓練**もあわせて実施した。

<訓練内容>

- ① 開会挨拶
- ② 座学 (基礎知識の習得)
- ③ 災害対策用機械操作訓練
 - ・ 排水ポンプ車
 - ・ 照明車
 - ・ 無人化施工バックホウ
 - ・ 目測、ロープワーク
- ③ 移動通信機器運用訓練
 - ・ 鉄塔の破損状況確認
 - ・ ヘリサット映像伝送
 - ・ 音声通信 (K-λ)
 - ・ 映像伝送 (i-RAS)
 - ・ 情報入力 (DiMAPS)
 - ・ テレビ会議 (公共BB)
- ④ 閉会挨拶 (訓練の総括)

開会挨拶



石川副所長(中部技術事務所)



渡辺技術情報管理官(中部地整)

座学の様子



訓練参加者による座学の様子

訓練の総括



國村総括防災調整官

- 本訓練を通じ、災害対策用機械の操作の習熟度を高めてもらいたい。
- 災害発生時には、協定業者協力のもと、TEC-FORCEによる災害支援活動を共にしていきたい。

中部地整TEC-FORCE 災害対策用機械操作訓練

- 国交省職員及び災害協定業者参加のもと、災害対策用機械の操作技術の習得・向上を図るため訓練を実施
- 災害発生時においても、資機材を活用した迅速な応急対応が出来るよう、連携を強化



無人化施工バックホウの操作訓練



照明車の操作訓練



排水ポンプ車の操作訓練



災害対応時に応用できるロープワークを学ぶ協力業者の技術者

- 災害発生時、迅速な情報収集・発信、本省・本局・現場での各種情報共有を行うため移動通信機器の運用訓練を実施
- 音声通信(K-λ),映像・データ伝送(i-RAS)等、機器の使用方法の確認及び、災害対策本部車と本省をテレビ会議・データ通信で繋ぎ、通信環境を構築することを確認。現場からDiMAPSに接続し地図・画像・位置データを迅速に共有



まんなか号

Ku-SAT

ヘリサットを通じ映像伝送を確認(衛星通信車にて)
ヘリと地上との無線交信(K-λ活用)



i-RAS

K-λ

公共BB

音声通信、映像通信のための機器等を設営し、
リアルタイム映像を配信している様子

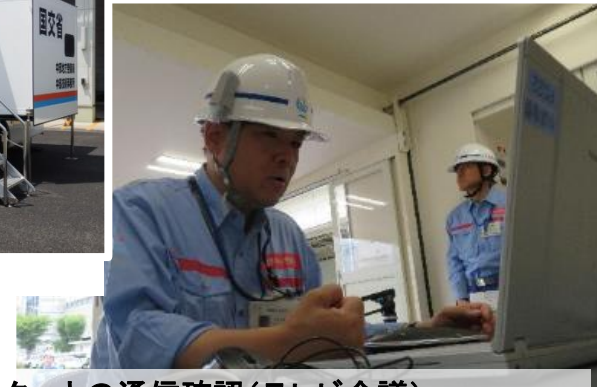


現場でGPS軌跡を
DiMAPSへ登録

i-RASの大容量ネットワークを使い
災対車両でDiMAPSを操作、情報を共有



災害対策本部車



本省防災センターとの通信確認(テレビ会議)